

いなべ市

平成16年度 国土策創発調査
「鉄軌道、中心市街地の活性化による公共交通を
中心とした地域づくりに関する調査(いなべ市)」

**「合併新市における公共交通施策から
展開するコミュニティ創造調査」**

中部運輸局
三重県いなべ市

1. いなべ市の概要

いなべ市概要

三重県

いなべ市

いなべ市概要

平成15年12月 合併

面積: 約220km²
人口: 約45,500人
人口密度: 約207人/km²
世帯数: 約14,100世帯
(平成16年11月現在)

いなべ市の人口

年	世帯数	人口
昭和55年	12,185	41,594
昭和60年	11,217	43,462
平成2年	11,869	43,852
平成7年	13,047	45,746
平成12年	13,758	42,886

いなべ市の人口と世帯数の推移

いなべ市の年齢分布

少子高齢化の傾向にある

いなべ市の鉄軌道

三岐鉄道北勢線

三岐鉄道三岐線

市民の要望により存続した北勢線

平成14年3月、近畿日本鉄道は「**廃止予定日を平成15年4月1日とする北勢線の鉄道事業廃止届出**」を提出。

沿線地方公共団体は

- 沿線に点在する高等学校等への通学の足の確保
- 起点である桑名駅周辺道路渋滞から生じる環境負荷の軽減

より、「**鉄道存続**」の方向を固め、受け皿として地元の三岐鉄道との協議を開始。あわせて、三重県に対して財政支援等を要請。

三重県においても地元の意向を踏まえて一部財政支援を認める。

平成14年12月、近畿日本鉄道から三岐鉄道への**事業譲渡譲渡**に関する契約が締結。平成15年4月1日以降、北勢線は沿線公共団体による支援を前提に三岐鉄道が運行する。

北勢線の特徴

ナローゲージ

- 二本のレールの間隔が通常よりも狭い1762mm
- 大正時代から「軽便鉄道」として親しまれる
- 現在、日本で旅客営業中なのは、北勢線の他は数線のみ(近鉄内部・八王子線と黒部峡谷鉄道)

市民の強い要望

さまざまな市民団体が維持・活性化の後押しをしている。

- ASITA(北勢線とまち育みを考える会)
- 北勢軽便鉄道をよみがえらせる会 etc.

鉄軌道駅の整備状況 (1)

例) 北勢線・・・大泉駅



広い駐車場

整備された周辺道路

鉄軌道駅の整備状況 (2)

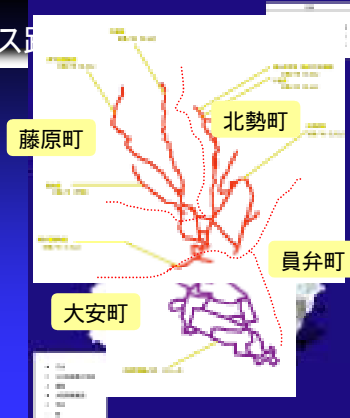
例) 三岐線・・・大安駅



図書館を兼ねた駅舎

広い駐車場

現行のバス路線

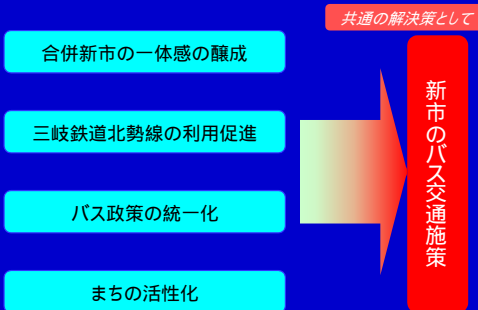


現行バスの課題点

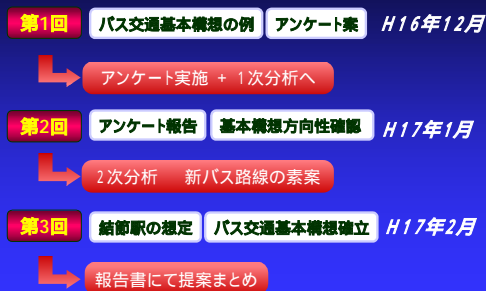
- 無料の福祉バスは大安町のみで運行されている。
- 藤原町、北勢町には人口分布に沿った自主運行バス路線が走っている。
- 員弁庁舎周辺の人口密度が多い地域には(路線バスがあるものの)自主運行バスも福祉バスも走っていない。
- 阿下喜駅以外に鉄道との結節となる箇所が無い。
- 員弁川を跨ぐバス(及びその他公共交通)が無い。

2. 調査の内容

調査の背景



検討会の流れ



アンケート配布/回収方法

調査方法

調査対象：高校生以上(15歳以上)の男女
配布数：1,652世帯(1世帯3票配布) + 180票
調査方法：郵送配布(一部直接配布)・郵送回収
調査期間：発送12月下旬(直接配布は1月上旬)回収1月上旬~中旬

回収結果

回収世帯数(部数)：517世帯(回収率31.3%)
有効票：1,156票(回収率22.5% 対人口率2.5%)

アンケートの内容

(1) 個人属性

居住地/性別/年齢/職業...

(2) 日常行動

目的別目的地/目的地利用頻度/利用交通手段/...

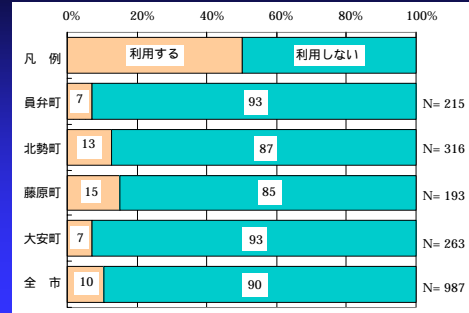
(3) 現行バス路線の利用状況

バス利用頻度/バス利用に対する不満理由/...

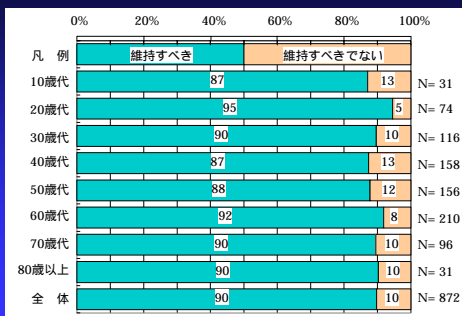
(4) バス運行に対する住民意識および課題

バス交通の維持について/利用者負担への要望/...

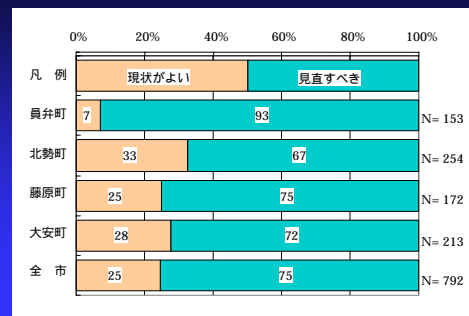
旧4町別のバス利用状況



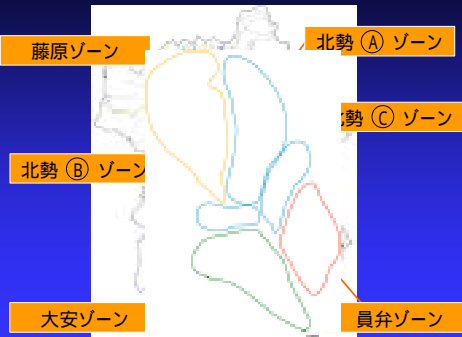
(年代別) バス交通の必要性に関する意識



現状のバス交通に関する意識

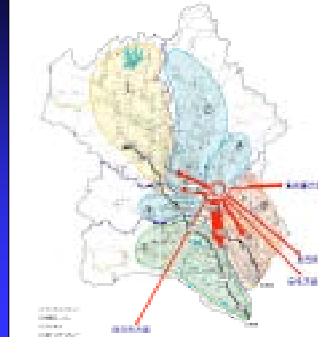


ゾーン間移動の集計



ゾーン間移動の集計の一例

例) 北勢Cゾーン / 買物目的



ゾーン間移動の傾向

■ 通学・通勤

居住ゾーン = 目的地の傾向

2 鉄軌道沿線が目的地の割合が高い

■ 買物

ゾーン各々に利用度数の高い
ショッピングセンター・商店街が存在

市全体ではジャスコへの利用度数が高い

■ 娯楽

圧倒的に市外が目的地

自由意見の集計結果

いなべ市全域で運行コースを
見直して欲しい

交通弱者が利用しやすいバスが必要

鉄道駅に接続するようにして欲しい

新バス交通コンセプトの基本方針

- 新バス交通は...

2つの鉄軌道の市域内フィーダー交通

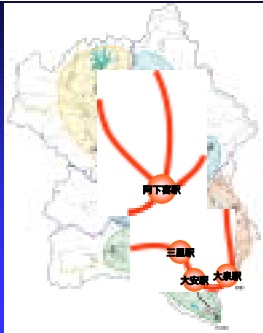
- 更に、

市民の移動交通面におけるミニマム保証

合併後の全市的な一体感を醸成

3. 調査の結論

三岐線・北勢線への結節



結節駅

1. 阿下喜駅
2. 三里駅
3. 大安駅
4. 大泉駅

注：本図はそれぞれのゾーンが結節駅につながるイメージを表しており、路線の本数や経路を示すものではありません。

新バス交通の基本構想

- 想定する利用者

子供や老人、(車を運転しない)主婦等

- 想定する利用目的

鉄軌道へのフィーダー交通としての機能

市域内移動交通としての機能

- 利用者負担(運賃)

1コイン等のわかりやすい運賃体系

新バス交通のバス車両イメージ

利用者にやさしい
低床式バス

いなべ市らしい
デザインを施したバス

使いやすく
親しみのある
バスを演出



(写真は八日市市HPより)

住民との協働による展開

住宅地への乗り入れ

バス停のデザイン

利用する
地域住民との
協働

バス停位置の見直し

人と利用と連動した
サービス

計画・運行それぞれの段階で
“自分達のバス”と意識してもらう

4. 駅前整備

駅前の機能整備

ハード面

- バス交通結節機能
- P & R・K & R機能
- 駐輪場の確保

ソフト面

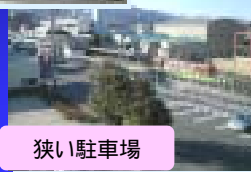
- 時刻表の同期
- 共通乗車券

十分な広さの駅前広場

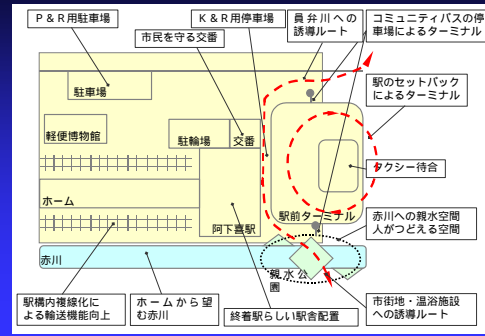
北勢線の諸調査との連携

市街地活性化との連携や
地域の特性を考慮して検討

駅前整備の例－阿下喜駅周辺の現状



駅前整備の例 - 結節機能を付加(案)



駅前整備の例－イメージ(案)



駅前整備の例 - イメージ(案)



5 . 今後の展開

いなべ市新バス交通の提案

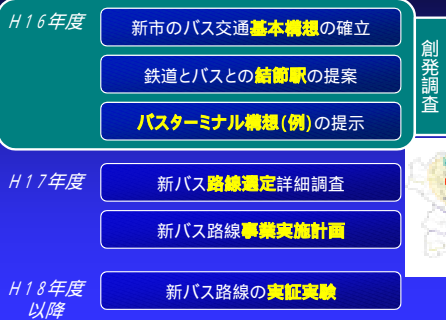
現行の自主運行バス・福祉バス



可能な範囲の
機能継承

市が運行主体となる
コミュニティバスの全市展開

バス交通施策の展開(案)



END

ご清聴ありがとうございました